

2007年3月期 第3四半期決算説明会

2007年2月9日
日本郵船(株)



NYKLINE
NIPPON YUSEN KAISHA

目次

- 1) 06 / 12期 決算 (P.2 – P.5)
- 2) 07 / 3期 業績予想 (P.6 – P.8)
- 3) セグメント別状況 (P.9 – P.12)
- 4) トピックス (P.13 – P.16)

06 / 12期 決算サマリー

1) 売上高/+13%、経常利益/-34% の増収減益 (億円)

		売上高		営業利益		経常利益		純利益	
05/12期		14,238		1,200		1,209		761	
06/12期		16,023		770		804		487	
増減	%	1,785	13%	-430	-36%	-405	-34%	-275	-36%

2) 海運業部門：海運業合計で 362億円の減益

3) 非海運部門：主要3部門合計で 72億円の増益

4) 為替・燃料油：(05/12期 vs 06/12期・期中平均比較)

為替レート 4.30円の円安 (111.66円 115.96円)

燃料油価格 \$52.42/MT高 (\$273.92/MT \$326.34/MT)

前年同期比増減分析

(億円)

円安	45	今期 115.96円 / 4.30円の円安
燃料油高	118	今期 \$326.34/ \$52.42の燃料油高
海運市況変動など	392	
非海運部門	41	NCA を含まず
コスト削減	89	海運 76億円、非海運 13億円
新規連結	71	NCA 90億円
合計	405	

経常利益(年間)に対する感応度

為替 1円の円安で約 14 億円の増益

燃料油 \$ 1/MTの燃料油価格上昇で約 3 億円の減益

06 / 12期・前年同期比較 (セグメント別)



(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
05/12月期	4,030	5,009	3,152	848	323	92	1,587	803	14,238
06/12月期	4,316	5,724	3,517	938	340	87	2,080	979	16,023
増減	285	716	364	90	16	5	493	175	1,785

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
05/12月期	201	855	99	17	13	28	2	0	1,209
06/12月期	70	764	120	40	39	29	119	0	804
増減	271	91	22	24	27	1	117	0	405

(売上高)	06/12	05/12	増減	増減率
不定期船	4,849	4,172	677	16.2%
タンカー	876	837	39	4.6%
計	5,724	5,009	716	14.3%



06 / 12期・修正(11月9日発表) 予想比較(セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
07/3期予想	5,600	7,350	4,840	1,205	420	116	2,922	1,453	21,000
06/12期実績	4,316	5,724	3,517	938	340	87	2,080	979	16,023
達成度	77%	78%	73%	78%	81%	75%	71%	-	76%
Balance	1,284	1,626	1,323	267	80	29	842	-	4,977

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
07/3期予想	90	1,056	182	45	27	35	105	0	1,150
06/12期実績	70	764	120	40	39	29	119	0	804
達成度	-	72%	66%	89%	146%	83%	-	-	70%
Balance	-	292	62	5	-	6	-	-	346

(売上高)	06/12期 実績	07/3期 修正予想	Balance	達成度
不定期船	4,849	6,190	1,341	78.3%
タンカー	876	1,160	284	75.5%
計	5,724	7,350	1,626	77.9%

07 / 3期 通期業績予想サマリー

- 1) 業績予想 : **経常利益 50億円 の下方修正**
- 2) 海運業部門: ドライ市況好調の一方、タンカー市況は低迷
通期経常利益は + 9億円 の微増益
- 3) 非海運部門: 積高予想の未達による NCA 減益により
通期経常利益は 59億円 の減益
- 4) 為替・燃料油前提:
為替レート(2 - 3月) : ¥120.00/\$
燃料油価格(1 - 3月) : \$290.00/MT
- 5) 配当予想 : 年間18円(中間9円 + 期末9円)

07 / 3期通期業績予想

(億円)

	前回(11/9)予想			今回予想		増減	
	上期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	10,536	10,464	21,000	10,684	21,220	220 2%	220 1%
営業利益	471	679	1,150	629	1,100	-50 -7%	-50 -4%
経常利益	489	661	1,150	611	1,100	-50 -8%	-50 -4%
純利益	296	384	680	360	655	-25 -6%	-25 -4%

為替
燃料油

¥115.26	¥110.00	¥112.63	¥118.53	¥116.90	¥8.53	¥4.27
\$336.04	\$330.00	\$333.02	\$298.34	\$317.19	-\$31.66	-\$15.83

07年 2-3月 為替 前提 : 120円/\$
07年 1-3月 燃料油価格 前提 : \$290/MT



07 / 3期・通期業績予想 (セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
前回予想	5,600	7,350	4,840	1,205	420	116	2,922	1,453	21,000
今回予想	5,570	7,650	4,770	1,240	454	115	2,766	1,345	21,220
上期実績	2,906	3,706	2,278	622	242	58	1,389	665	10,536
下期予想	2,664	3,944	2,492	618	212	57	1,377	680	10,684
増減	30	300	70	35	34	1	156	108	220

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
前回予想	90	1,056	182	45	27	35	105	0	1,150
今回予想	105	1,080	176	53	40	35	180	0	1,100
上期実績	48	466	72	24	39	20	84	0	489
下期予想	57	614	104	29	1	15	96	0	610
増減	15	24	6	8	13	0	75	0	50

(売上高)	今回予想	前回予想	増減	増減率
不定期船	6,515	6,190	325	5%
タンカー	1,135	1,160	25	-2%
	7,650	7,350	300	4%

セグメント別状況

1. 海運業 - 1)

コンテナ船: 旺盛な荷動きを背景に**運賃の修復を図る**

輸送量実績(千TEU)

	05/1-3Q (実)	06/1-3Q (実)	増減	(%)	05年度 通期(実)	06年度 通期(予)	増減	(%)
アジア 北米	521	538	17	3.3%	702	704	2	0.3%
(消席率)	85%	86%			86%	85%		
アジア 欧州	298	349	51	17.1%	403	471	68	16.9%
(消席率)	89%	93%			90%	94%		

* 欧州航路は06年度実績数値より域内航路を除外した為、一部Restateしております。

自動車船: 好調な荷動きによるスペース・タイト続く

輸送台数実績(万台)

	05/1-3Q (実)	06/1-3Q (実)	増減	(%)	05年度 通期(実)	06年度 通期(予)	増減	(%)
全航路	214	243	29	13.7%	286	323	37	12.9%

セグメント別状況

1. 海運業 - 2)

バルク・エネルギー輸送部門の市況動向(指数)

	04年度	05年度			06年度			
		上期 (実)	下期 (実)	通期 (実)	上期 (実)	下期 3Q(実) 4Q(予)	通期 (予)	
撒積船(ケープサイズ)	100	66	59	63	63	95	98	80
撒積船(ハンディサイズ)	100	70	65	68	81	103	84	87
VLCC	100	52	90	71	67	46	42	56

撒積船 : 好調なドライ・マーケットを反映し増益基調。
パナマックスには、一部滞船の影響。

タンカー : VLCC・石油製品タンカーともに、冬場も
マーケットが低迷、業績予想を減額修正。



セグメント別状況

2. 物流事業

1) NYK LOGISTICS (陸上物流部門):

一部海外現法で減益となるも、全体では利益成長を継続。

	05/1-3Q(実)	05/通期(実)	06/1-3Q(実)	06/通期(予)
経常利益	32 億円	36 億円	44 億円	65 億円
前年比			12 億円	29 億円

2) YAS (航空フォワーダー部門): 好調維持。

	05/1-3Q(実)	05/通期(実)	06/1-3Q(実)	06/通期(予)
経常利益	66 億円	94 億円	76 億円	112 億円
前年比			10 億円	18 億円

本表は、当社連結会計上の実績であり、YAS個別の実績とは異なります。

セグメント別状況

3. ターミナル関連事業

- 1) YTI (ロサンゼルス):
ゲート集約などオペレーションの効率化を継続。
- 2) CTE(アムステルダム):
取扱高は増加したものの計画は下回る。

4. 客船事業

- 1) 飛鳥 は、船型の大型化により広くて高級な客室の供給が増え、業績伸張に寄与。
- 2) **クリスタル**は、フリートの合理化が奏効し、乗船率・運賃率ともに上昇し、**大幅な増益を達成**。

NCA 06 / 12期実績と通期予想

1) 06/12期実績の対前年同期比較 および 通期業績予想の対前回予想 (11/9) 比較

(億円)

	05/12期実績			06/12期実績		増減	07/3期 通期予想		通期増減
	05/12期実績	06/12期実績	増減	11/9予想	今回予想				
売上高	303	752	449	1,026	968	57			
経常損益	30	120	90	108	173	65			
M O P S	\$71.07	\$82.13	\$11.06	\$86.34	\$80.35	-\$5.99			

(感応度) 燃料油 : \$1 / BBL あたり 4億円 / 年

北米・アジア航路における**積高未達**、機材売却前倒し および
クラシック機故障による**スペース減・修理費増加** により減収減益。

NCA 06 / 12期実績と下期予想

2) 航路別 L/F の推移

	06/3期	07/3期	07/3期	07/3期 下期			07/3期 下期 11/9 予想比
	通期実績	上期実績	下期予想 (11/9)	3Q実績	4Q予想	下期計	
アジア 北米	95%	98%	100%	96%	96%	96%	-4%
北米 アジア	72%	72%	78%	75%	81%	77%	-1%
アジア 欧州	90%	94%	100%	107%	100%	103%	3%
欧州 アジア	94%	86%	93%	93%	94%	93%	0%
日本 アジア アジア域内	50%	62%	66%	56%	55%	56%	-10%
アジア 日本	80%	77%	90%	89%	84%	87%	-3%

アジア/日本 北米の積高を合算した物量によるL/F

L/F = Gross Chargeable Weight/ACL (Available Cabin Load)

北米航路はピークシーズンの盛り上がりに向け、
アジア航路では競争激化による積高不振が原因。

NCA 07 / 3期業績予想

3) NCA 07/3期修正予想の前年同期比較

(億円)

	06/3期 実績	07/3期 11/9予想	07/3期 今回予想	増減 06/3期比
売上高	1,036	1,026	968	68
経常利益	104	108	173	69
MOPS	\$72.34	\$86.34	\$80.35	\$8.01

(感応度) 燃料油 : \$ 1 / BBL あたり 4億円 / 年

プラス要因 : **新鋭機効果とコスト削減**、機材売却益

マイナス要因: 燃料油高、クラシック機の整備費用や
自立早期化費用の増加。



ヤマトHD・パナルピナとの提携

日本国内

海外

ヤマトグループ

パナルピナグループ



相互補完

- ・国内配送ネットワーク
- ・航空貨物共同混載

- ・フォワーディング代理店
- ・物流センター・陸上輸送

